



ていねいな教育ができる学校をめざして

令和3年度がはじまりました。7日の入学式で新たに235人の1年生を迎え、学校に子どもたちの元気な声が響いています。昨年の4月はつくさみしい思いをしていただだけに、こうして全員がそろって新しい学年を迎えられることを嬉しく思います。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行は、まだまだ収まる気配を見せません。先日大阪に「まん延防止等重点措置」がなされたことにより、学校教育にも再び制限がかけられる事態となりました。学校としても学習参観などがお知らせ直後の変更となり申し訳ないところですが、今年も昨年同様に、教育活動の実施と感染予防の安全性のはざまで揺れ動く1年になりそうです。急な決定や変更も多いかと思いますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、年々児童数が増え続ける堀江小学校は、今年度児童数1351人、36学級となりました。今や大阪市でも有数のマンモス校となった本校ですが、子どもの数が多くても、子どもを大切にしたいていねいな教育ができる学校をめざしたいと考えています。

では、ていねいな教育とはどういう教育なのでしょう。ていねいな教育とは、心地良い言葉を連ねて^{いんぎん}懇^{いんぎん}篤な態度で教えることではありません。また、個々の要求に応じて何でも受け入れることとも違います。私は、ていねいな教育とは、教師が子ども一人一人をしっかりと見つめて教育をすることに尽きると思っています。学級に40人いれば、担任から見れば1対40の関係でも、子どもからは先生とは1対1です。子ども一人一人その子の育ちや生活背景は違いますが、そうした違いを理解して寄り添うことで、ていねいな教育ができると考えています。実際には言うほどの細やかな対応はできないかも知れませんが、その気持ちをもって、子どもを励まし導き、保護者と一緒にその成長を確かめ喜びあうという、いたって当たり前のことこそが、ていねいな教育であると信じています。その中では、もちろん子ども自身が努力することは必要ですし、その子のためになると思えば、時には先生が本気で叱ることもあるでしょう。しかし、子どもと先生が、さらに学校と保護者が同じ方を向いて協力していくことで困難は乗り越えられると考えています。

この1年間でどれくらい子どもたちが育つのか、楽しみにしながら教職員とともに頑張りたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

【裏面もどうぞ】



令和3年度の堀江小学校の教育活動について

学校長が学校運営をしていく中で、学校経営方針というものを立てます。学校の責任者として、教育活動の方向性を示し、教職員と共有します。※()は補足説明です。

1. 児童が安心・安全な環境のもと、主体的な学校生活を送れるように支援する。

- ・安定した学級経営（何よりも大切に。学習指導とともに車の両輪ですから。）
- ・課題解決型学習に向けた授業改善（主体的な学習に向けた方策の一つです。）
- ・児童自身が考え判断する教育（人数が多いと、つい流されてしまう子どもが…。）
- ・いじめ対策（いじめの起きにくい学級作りと早期発見・早期対応が大事です。）
- ・Q-Uの活用（学級満足度調査で、子どもの状況を客観的に把握します。）

2. 本校が培ってきた教育実践を深化させ、これからの社会で生きるために必要な力を養う。

- ・ICT（11月に日本教育工学協会 JAET の全国大会会場校として実践発表をします。）
- ・SPS（学校安全のセーフティープロモーションスクールとして6年目、再認証継続です。）
- ・プログラミング教育（これまでの実践を継続しながら思考力を高めます。）
- ・英語教育（Global Time で低学年からの英語教育をしっかりと。）
- ・特別支援教育の体制作り（学年担当制をとりつつ隣接学年との協力体制を組織的に。）



3. きまりや約束事など規範意識を高め、児童が落ち着いて学習できる環境を創造する。



- ・あいさつの励行（登校時だけでなく、校内で来客へのあいさつもできる子に。）
- ・時間（登校時刻や授業の開始時刻）の厳守（きまりを守る基本中の基本。）
- ・名札の校内着用（名前を大切にすることは自分を大切にすることです。）
- ・廊下の歩行（小学校永遠の課題かも知れませんが…。）
- ・校内環境美化（きれいな学校にはきれいな心が宿ります。）
- ・感染症対策の徹底（マスク・手洗い・換気の基本をしっかりと。）

4. 体力・運動能力の向上

- ・体育科学習の授業改善（授業中の運動量をしっかり確保する事が必要。）
- ・基礎体力や運動能力の向上に向けた取り組み（狭い所でもできる運動を。）
- ・食育・保健教育の継続的推進など（栄養指導や保健指導の充実。）



5. 教職員の服務規律を確保しながら、気持ちよく働くことができる職場環境を作る。



- ・サービスの厳正（学校で働く者として信用・信頼が第一です。）
- ・風通しの良い職場環境（空気だけでなく気持ちも爽やかな職員室に。）
- ・時間外勤務の削減意識と効率化（教職員の笑顔が子どもの笑顔につながります。）